

温泉の利用状況について

泉 質：単純温泉（低張性 弱酸性 高温泉）

温泉成分の特徴：弱酸性の温泉で、昔から「きずの湯」と呼ばれ、けがの治りが早いとされています。
（分析場所：源泉）

源泉の温度及び湧出量：84.4℃ 一リットル/分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：H24. 8. 30）

浴槽の種類とその状況：内湯、露天風呂、桧風呂（全て温泉水を使用）

循環、かけ流しの状況：かけ流し式
（常に新しい温泉を注入し、浴槽からあふれさせています。）

加水の状況：泉温が高いため、10%程度水道水を加えています。

加温の状況：なし

新湯との入れ替わり状況：1時間程度で入れ替わります。

入浴剤等の添加：なし

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況：毎日、完全に湯を抜き、清掃しています。

浴槽水の消毒状況：なし

水質検査の頻度：日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に2回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成24年 8月30日

施設名 奥の湯

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会